

公益財団法人 清和国际留学生奨学会 趣意書

わが国は、いまや世界における経済大国として、その地位を確固たるものにしました。その結果、国民生活にかかる所得水準は一流先進国と比肩し得るまでになりました。

そのため、わが国に対する国際的期待はいよいよ高まり、わが国の役割は一層重要になってまいります。

しかしながら、このわが国の存立と繁栄は諸外国、とりわけアジア太平洋地域の諸国との平和的、安定的関係の維持を抜きにしては成り立ちません。

従って、経済のみならず、芸術、文化、教育などの分野におけるこれら諸外国との交流をもっともっと強めなければなりません。

最近ニュースなどで報道されるアジア各国からの私費留学生の激増、そしてわが国の物価高に対する彼らの生活の困難さなどには目を見張るものがありますが、これらの中には、学力優秀で勉学に燃える有為な学生を見ることが出来ます。

この有為な学生たちにわが国への失望を興さしめてはなりません。何故なら、それではこれら諸外国との友好親善を培うことにはならないからであります。

従いまして、これらの学生に援助の手を差し伸べ、そしてこれらの国の若者たちをして、将来自国の経済、文化などの各方面で当該国の発展に寄与していただき、このことによってわが国とこれら諸外国との国際親善、国際協調、惹いては世界平和に貢献できるものと確信し、ここに清和国际留学生奨学会を設立し、この目的に向かって前進しようというものであります。

平成2年1月18日

財団法人 清和国际留学生奨学会
理事長 近藤 清吉

追記：上記は財団設立時のものです。当財団は2011年（平成24年）4月1日、公益財団法人の認可を得て、新しく『公益財団法人清和国际留学生奨学会』と発足となりました。為念申し添えます。